

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）甲第1259号	氏名	鷹居 樹八子
論文審査担当者		主査教授	進藤 裕幸
		副査教授	柴田 義貞
		副査教授	門司 和彦
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、転倒恐怖感と日常生活行動における転倒を避ける自信の無さ（F E S）の関連を解明しようとするもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 高齢虚弱者における、転倒恐怖感の有無とF E S（4段階の評価）、基礎疾患や症状の有無との関連を、単変量ならびに多変量解析を用いた統計学的解析法で評価する研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、転倒恐怖感とF E Sは、有意に相関しており、また、麻痺と尿失禁においては、転倒恐怖感とF E Sには有意の関連が認められた。</p>			
<p>以上のように本論文は高齢虚弱者における転倒恐怖感やADLにおける患者自身の評価に基づいて、転倒防止に向けての新しい知見を示唆するもので、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			